

CSR マネジメント

当社グループでは、お客さまをはじめ事業活動に関する皆さまのご期待・ご要望を踏まえ、CSRの取組みを改善・充実していくマネジメントサイクルを構築しています。

CSR 推進会議

CSR 担当役員を任命するとともに、社長を委員長とする CSR 推進会議を設置し、CSR 行動計画等の審議を行い、取組みの改善・充実を図っています。

CSR 推進会議の概要 (2016年6月現在)

〔役割〕CSR 活動全般の方針・計画等の審議
 〔構成〕委員長：社長
 副委員長：CSR 担当の副社長又は執行役員
 委員：副社長、取締役、常務・上席執行役員を基本(委員長が指名する)
 〔開催〕原則として年2回

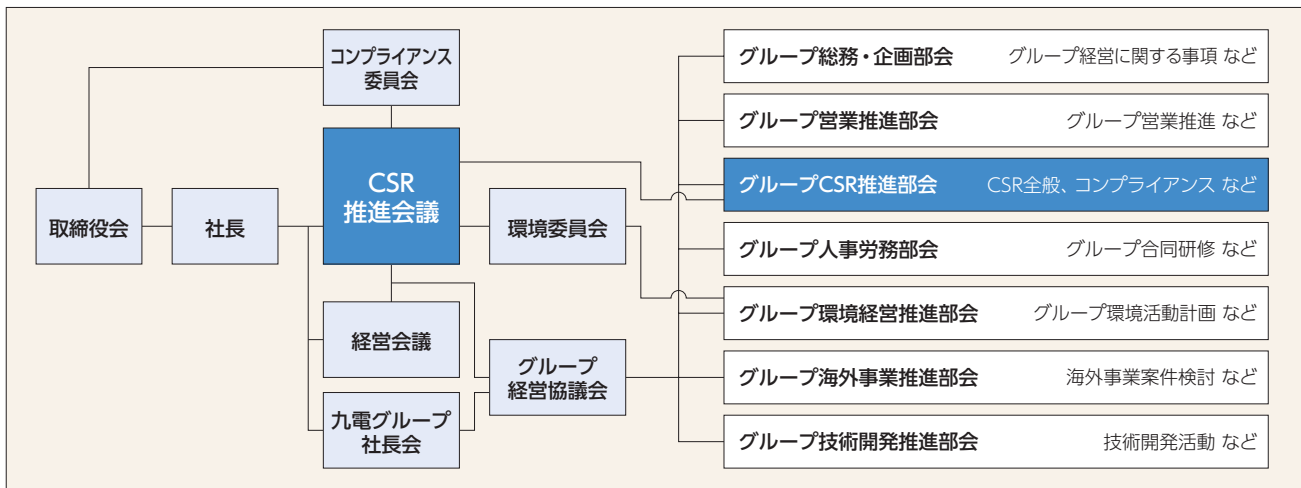
グループ CSR 推進部会

グループ CSR 推進部会を設置し、グループ各社におけるコンプライアンスなど CSR の取組みを推進しています。

グループ CSR 推進部会の概要 (2016年6月現在)

〔役割〕グループ全体での CSR マネジメントサイクルの確立
 ・コンプライアンスに関する施策の推進
 〔構成〕部会長：九州電力地域共生本部 部長(総務担当)
 副部会長：九州電力地域共生本部 部長(法務担当)
 構成会社：49社
 〔開催〕原則として年2回

▼ CSR 推進体制

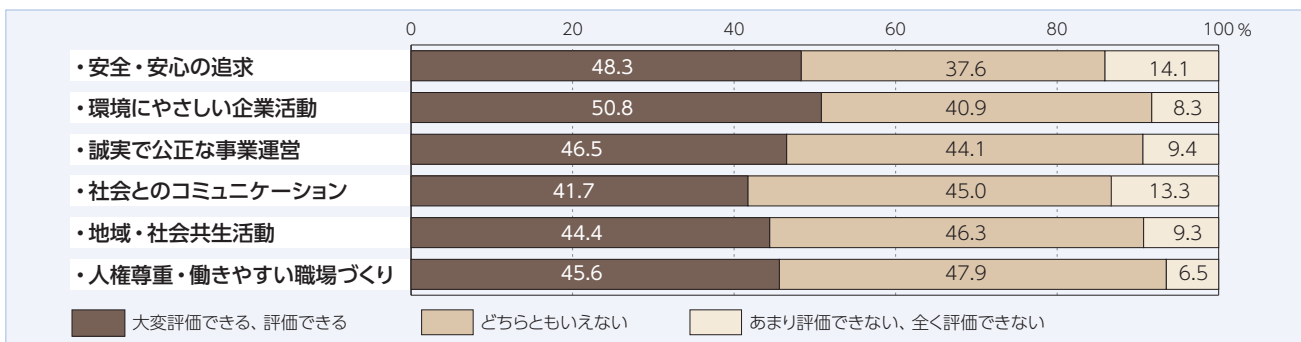


CSR 報告書 2015 アンケート調査 (CSR の取組みに対する社外評価①)

一般のお客さまに「九州電力 CSR 報告書 2015」を読んでいただいた上で、CSR の取組み状況等について評価していただくアンケート調査を実施しました。

〔調査方法、対象〕インターネット調査、九州在住の20歳以上
 〔回答者数〕1,467名
 〔調査期間〕2015年6月25日～7月13日

【調査結果の概要 (CSR 重点項目の取組みの評価)】



お客さまモニター会合(CSRの取組みに対する社外評価②)

お客さまからCSRの取組みへの期待やご意見をいただく会合を開催しました。

〔開催日〕2015年8月9日

〔参加者〕お客さまモニター33名



【主なご意見】

- ・CO₂を多く排出する事業者として、環境保全活動への期待が大きい。
- ・環境保全と教育を組み合わせた活動や、子どもたちの記憶に残るイベントなど、体験型の活動に期待。
- ・消費者のニーズにしっかりと応えてくれる姿勢が見えると信頼につながる。
- ・本気で声を聴く姿勢を示すには、声に対応したことだけではなく、今後検討することも発信していくことが大事。
- ・原子力の情報を知らないことが、漠然とした不安や不満、誤解につながっている。
- ・原子力の安全性だけが強調されていることに不信感がある。
- ・社員との対話は、社員の顔が見え、信頼・共感を得やすく、それが小集団であれば、意見交換を通して思いや情報が伝わる。

社外専門家会合(CSRの取組みに対する社外評価③)

お客さまからのご意見を踏まえ、専門的な知見からご助言をいただく会合を開催しました。

〔開催日〕

2015年9月29日(第1回)、10月1日(第2回)

〔出席者〕

石窪 奈穂美 様：消費生活アドバイザー
古賀 桃子 様：ふくおかNPOセンター代表
林田 スマ 様：大野城まどかぴあ館長
宮原 哲 様：西南学院大学文学部教授
森沢 徹 様：(株)野村総合研究所上席コンサルタント
山口 裕幸 様：九州大学教育学部長



第1回会合



第2回会合

【主なご意見】

- ・子どもたちへの環境教育・体験を通して、学びや気づきを与え、子どもたちの行動につなげていくプログラムにすることが大事。
- ・幅広い地域課題に対応し、会社の収支に限らず地域の活動を継続的に支援する仕組みを作ることが期待されている。
- ・社外の声を取り入れるだけでなく、どのような声があったか、声をどう活かしたかについても、示すことが信頼につながる。
- ・困り事があればすぐに問い合わせができ、「こんな質問にはこう答えます」とか、「この部署が答えます」とかが分かるよう、九電の「聴く姿勢」をもっとアピールすべき。
- ・原子力に賛否どちらでもない幅広い中間層へのアプローチが重要。
- ・消費者は自分の声が届いていないと感じているため、大人数の一方通行の説明会ではなく、小集団による双方向の対話を通して、一緒に考えていく姿勢を示すことが大事。

お客さまや専門家の皆さまからのご意見を踏まえた取組みの改善・充実

当社のこれまでの課題認識やお客さま及び専門家の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、今後の方向性についてCSR推進会議において審議し、CSRの取組みの改善・充実を図っています。

〔改善・充実した主な取組み〕

- ・環境活動、次世代育成支援活動を行う「九電みらい財団」の設立
- ・お客さまの声を事業運営により一層反映する社内の仕組みの強化
- ・原子力発電所周辺地域におけるコミュニケーション活動の充実

今後とも、皆さまのご期待・ご要請にお応えするCSRの取組みを行っていきます。